

三島通庸（みしまちつね）は、栃木県第3代の県令（知事）である。三島は、道路の整備だけではなく県庁を現在の栃木市から宇都宮市に移転させるなど多くの土木工事をおこないました。

# 男女共同参画社会

## 下野市男女共同参画プラン 市民意識調査結果をお知らせします

### ドメスティック・バイオレンス認知度向上

下野市では『下野市男女共同参画プラン』シェアリングしもつけ（計画期間：平成20～27年度）に基づいて、男女の自立と共同参画社会の実現に向けた施策を推進しています。

このコーナーでは、4月号・5月号に引き続き、計画策定時（平成19年）と昨年実施した意識調査の結果を比較してお知らせします。

今回は、「基本目標Ⅲ 男女が平等に安心して健康で豊かに暮らせる生活環境づくり」における調査結果の一部となります。

#### 調査の概要

- 調査対象 18歳以上の下野市民 2,000人（男性1,000人、女性1,000人）
- 調査方法 郵送による配布・回収
- 調査時期 平成23年9月
- 回収率 35・5%

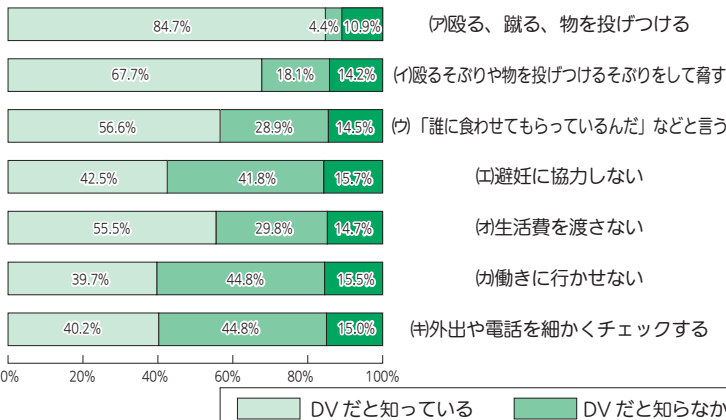
### 『ドメスティック・バイオレンスの認知度』

「避妊に協力しない」行為をDVだと知っている ……54.8%

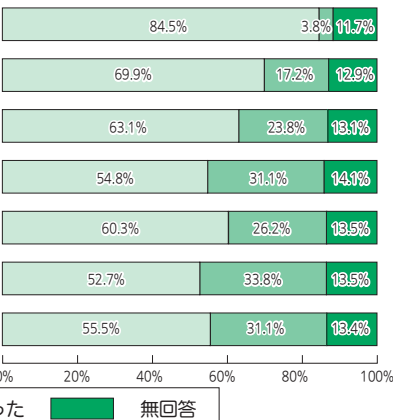
「働きに行かせない」行為をDVだと知っている ……52.7%

平成19年調査と比較すると、今回調査では、すべての項目において「DVだと知っている」と回答した方の割合が過半数を超え高くなっています。

H19



H23



#### ▼調査結果より

「ドメスティック・バイオレンス」（以下「DV」という）について、前回調査と比較すると、今回は「殴る・蹴る」といった「身体的暴力」だけでなく、「働きに行かせない」などの「精神的暴力」の認知度が高くなっています。これは、近年、DVが社会問題として取り上げられ、広く周知されていることが影響していると考えられます。

DVは、家庭や職場など社会における男女の固定的な役割分担意識や経済力の格差など、男女が置かれてきた社会構造が背景になっているとされています。

DV被害をなくし、すべての人々の人権が尊重される社会を実現するために、引き続きDVに対する理解を深め、DVの根絶に向けた啓発事業を推進していきます。

※調査結果の詳細をホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

URL <http://www.shimotsuke.jp>

#### ● 問い合わせ先

総合政策課 ☎(40)5550

#### まずは相談

日々の生活に「借金」の2文字を付けてはいけません

があっても「どうにかなる」「また、借りれば」この繰り返ししが「多重債務」の生活に陥ります。

「多重債務」と消費者金融等数社から借金を重ねること。自己判断せず、相談することが大切です。借金問題で毎日悩んでいるあなたの生活が、改善できるような消費生活センターでは導いています。一人で悩まず、相談しましょう。

借金問題で悩んでいるあなた、今後の生活状況をあらためて考えることが大切です。

**下野市消費生活センター  
専用ダイヤル**  
☎(44)4883  
国分寺庁舎2階  
生活安全課内

● 相談日時 月～金曜日

(土日祝日・年末年始を除く)  
午前9時～午後5時

(正午～午後1時を除く)  
● 栃木県消費生活センター

電話相談は土曜日のみ  
☎028(625)2227